

1. 保証書の内容のご確認と保存のお願い

必ず「販売店印およびお買い上げ日」をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保存してください。

2. 保証期間は、お買い上げ日より1年間

3. 修理をお申しつけされる時

《保証期間中》

製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容に基づき修理いたします。

《保証期間を経過しているとき》

修理すれば使用できる製品は、ご要望により有料修理いたします。

4. 補修用性能部品※の保有期間は、製造打ち切り後 6 年間

※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料、部品代、出張料などで構成されています。「技術料」は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

「部品代」は、修理に使用した部品および補助材料代です。「出張料」は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■お客様ご自身での修理、分解や改造は絶対にしないでください。



家庭用精米機

型名 BR-CA25

取扱説明書

家庭用精米機保証書

持込修理

取扱説明書、本体表示などの注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理いたします。製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にお申しつけください。製品のある場所での出張修理や製品輸送の場合は、出張料や輸送料などの実費を申し受けます。

|                                 |          |  |      |
|---------------------------------|----------|--|------|
| 型名                              | BR-CA25  |  | 修理メモ |
| ●お客様<br>お名前                     |          |  |      |
| ご住所 〒                           |          |  |      |
| ●お買い上げ日<br>年 月 日                | ●販売店名・住所 |  |      |
| 保証期間<br>お買い上げ日より<br><b>本体1年</b> |          |  |      |

●印欄に記入のない場合は無効となりますから、必ずご確認ください。

- ご転居、ご贈答などで、お買い上げ販売店にお申しつけできない場合は、弊社のお客様ご相談窓口にお申しつけください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
  - (イ) 使用上の誤り、および改造や不当な修理による故障および損傷。
  - (ロ) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
  - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷。
  - (ニ) 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車載、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
  - (ホ) 本書のご提示がない場合。
  - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書きかえられた場合。
  - (ト) 消耗部品の交換。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.
- 本書は盗難・火災などの不可抗力以外で紛失された場合は、再発行いたしませんので大切に保存してください。

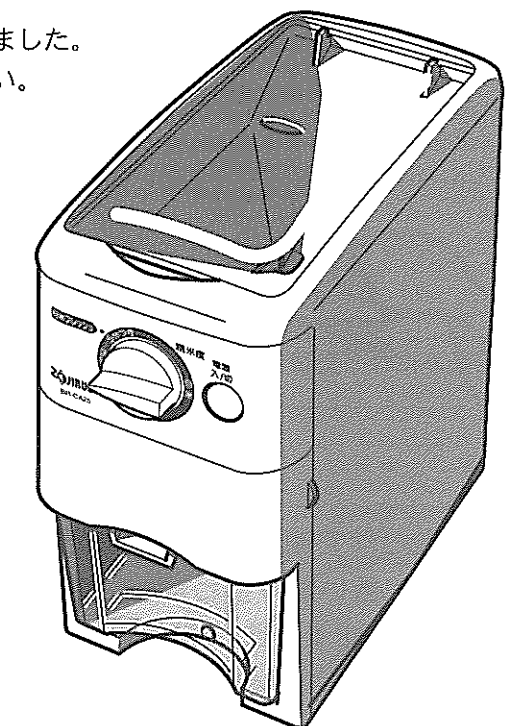
●お客様にご記入いただいた記載内容は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます場合もございますので、ご了承ください。

●この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

象印マホービン株式会社

〒530-8511 大阪市北区天満1丁目20番5号 ☎(06) 6356-2391

このたびはお買い上げいただきまことにありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、大切に保管してください。



もくじ

仕様 ..... 表紙  
安全上のご注意 ..... 1~3  
各部のなまえと扱い方 ..... 4  
正しい使い方（精米の仕方） ..... 5~6  
お手入れ ..... 7~9  
修理を依頼される前に ..... 10  
アフターサービスについて・保証書 ..... 裏表紙

仕様

| 保証書つき     |                         |
|-----------|-------------------------|
| 型名        | BR-CA25                 |
| ホッパー容量    | 約 1.2L(玄米 850g)         |
| 電源        | AC100V 50/60Hz          |
| 消費電力      | 245 / 275W              |
| 定格時間      | 20分                     |
| ※精米時間     | 約 8分 / 7分               |
| 電源コード     | 長さ 1.5M                 |
| 温度ヒューズ    | 121℃                    |
| 外形寸法 (cm) | 幅約 17 × 奥行約 32 × 高さ約 32 |
| 質量        | 約 7.5kg                 |
| 付属品       | ブラシ 1個                  |

※精米時間は、850gの玄米を白米にした場合の時間です。米の銘柄・含水率・電源周波数他の条件により、多少変わることがありますので一応のめやすと考えてください。

# 安全上のご注意

ご使用前に  
\*ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのもので「警告」「注意」の2つに分けてお知らせしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。

## 警告

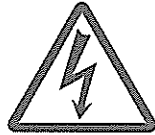
取り扱いを誤ると、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示します。

## 注意

取り扱いを誤ると、傷害または物的損害が発生する可能性が想定される内容を示します。

### 図記号の例

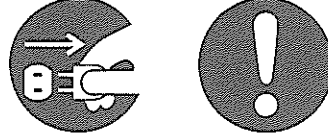
△記号は、警告、注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。下図の場合は「感電注意」を示します。



⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています。下図の場合は「分解禁止」を示します。



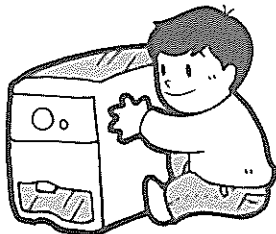
●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。下図の左は「差込みプラグを抜く」、右は必ず実行していただく「強制」内容です。



\*お読みになった後は、お使いになる方がいつでもみられるところに必ず保管してください。

## 警告

●子供だけで使わせたり、幼児の手の届く所に置いたり使わせないでください。感電・けがをする恐れがあります。

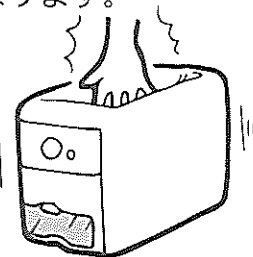


禁止

●運転中、ホッパーの中に、指や異物を入れしないでください。けがや故障の原因になります。

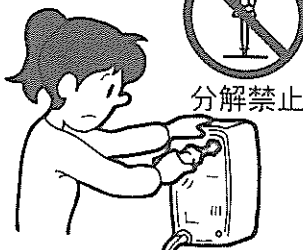


禁止



●改造はしないでください。また、修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理をしないでください。

火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店または、メーカー指定のお客様相談窓口にご相談ください。



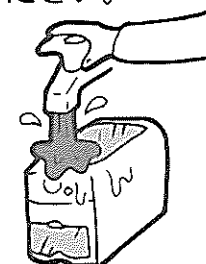
分解禁止

●水につけたり、水をかけたりしないでください。流し台など、水にぬれた場所に置かないでください。

ショート・感電の原因となります。



水ぬれ禁止

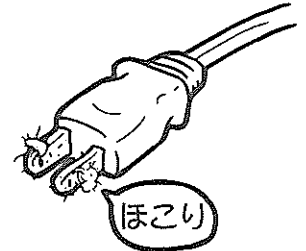


## 警告

●差込みプラグは、刃（プラグの先端）及び刃の取付面にほこりが付着している場合、よく拭いてください。火災の原因になります。

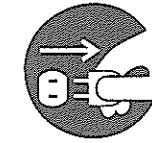


ほこりを拭く

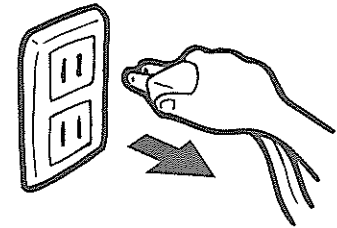


## 注意

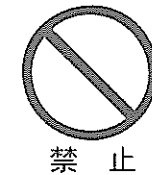
●部品の取り付け、取り外し、お手入れをするときは、差込みプラグを抜いてからしてください。



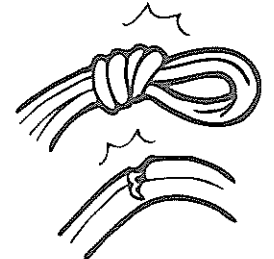
差込みプラグを抜く



●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工しないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



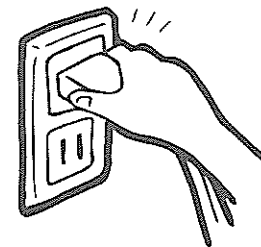
禁止



●差込みプラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って引き抜いてください。感電やショートして発火することがあります。



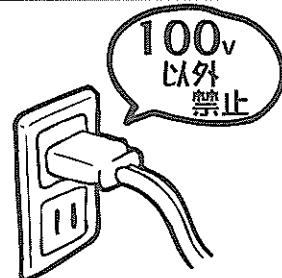
差込みプラグを持って抜く



●交流 100V 以外では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



禁止



# 各部のなまえと扱い方

## ⚠ 注意

●電源コードや差し込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。

感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

●不安定な所では使わないでください。けがの原因になります。

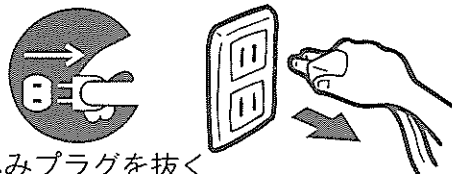


禁止



●使用時以外は、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。

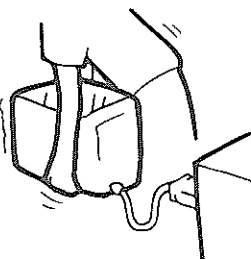


差し込みプラグを抜く

●運転中に移動させないでください。けがの原因になります。



禁止

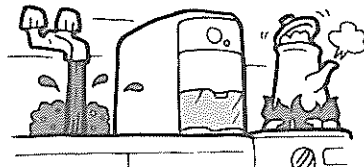


●水のかかる所や、火気の近くで使用しないでください。

感電・漏電・火災の原因になります。



禁止

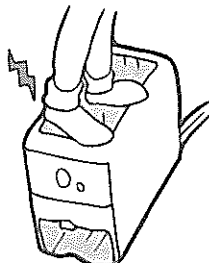


●本体を踏み台にしたり、重い物を載せたりしないでください。

けが、変形、破損の原因になります。



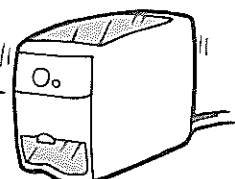
禁止



## 使用上の注意とお願い

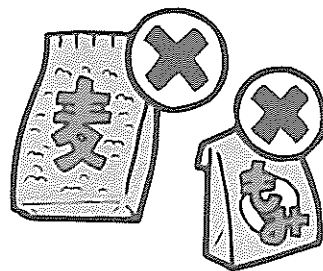
●20分以上連続使用をしないでください。20分程度連続使用した場合、自動停止することがあります。(10頁参照)

20分以上連続使用禁止



●ホッパーに玄米を放置しないでください。玄米を放置しておくと虫が発生することがあります。

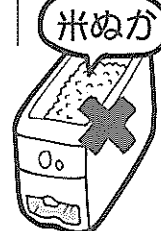
●玄米・白米以外には使用しないでください。玄米(白米)の中には石などが入っているときは取り除いてください。



●精米したての米は温かくなっていますので、冷ましてから保存してください。

●米ぬかを放置しないでください。

米ぬか



米ぬかを長く放置しますとカビがはえたり虫が発生することがあります。米ぬかは絶対にホッパーの中に戻さないでください。

ふた

・ホッパー内にほこりが入るのを防ぎます。

ホッパー

・玄米や白米を入れるところです。約850gまで入ります。

光センサー

・精米終了を感知し、自動停止します。

精米度ダイヤル

・精米度をセットします。

操作パネル

点検パネル

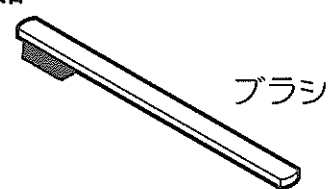
米出口

電源コード

●安全装置について

お手入れ後は、点検パネルがセットされていないと安全装置がはたらい、電源が入らなくなってしまいます。

付属品



ブラシ

・点検パネルをはずして精米部(内部)の掃除をするときに使います。

差し込みプラグ

電源スイッチ

・「切」の状態の時押しと「入」になり、「入」の状態の時押しと「切」になります。

ぬか受け

手前に引くとはずれます。

・精米によってできたぬかを受けます。

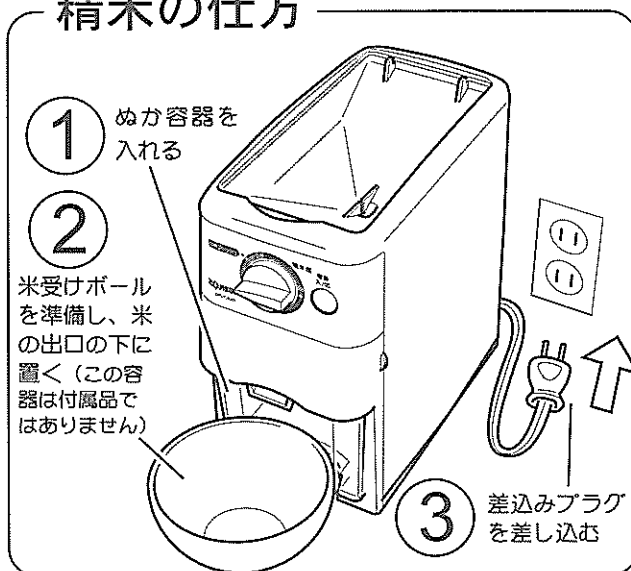
# 正しい使い方

この製品は、ご家庭で精米し、つきたての白米やつづき米を作るためにお使いいただくものです。お使いになる時は、以下の手順にもとづいて正しくお使いください。

## お使いになる前に

- この製品は玄米の精米又は白米フレッシュにお使いください。麦などは精麦できません。また米の貯蔵用としてホッパーを用いるのはやめてください。(虫の発生や故障の原因)
- 置き場所は、平らなしっかりしたところに置いてください。また、湿気の多いところや温度が高い場所(約35℃以上)、火気の近くには置かないでください。(けがや製品損傷の原因)
- 本体の後面は壁から5~6cm以上離してください。(製品損傷の原因)

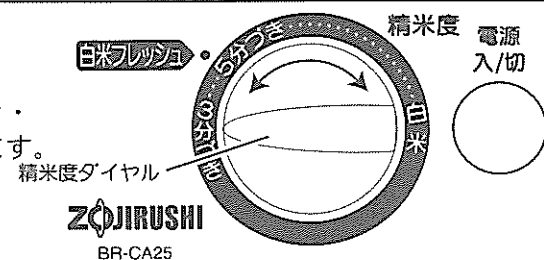
## 精米の仕方



## 1 精米度ダイヤルのセット

精米度ダイヤルを白米・3分づき・5分づき・白米フレッシュなど好みの位置に合わせます。

- 左まわし 精米度下がる
- 右まわし 精米度上がる



## ●精米度について

同じダイヤル位置でも、品種・米の含水率・新米・古米の違いなどにより精米度が多少異なることがありますので、お使いになる米に合わせて、好みのつき上がりになるようダイヤルを調節してください。

- 米が割れるときは 精米度ダイヤルを左にまわし精米度を下げてください。
- より白く精米するときは 精米度ダイヤルを右に少しづつまわし精米度を上げてください。
- 十分に白くならないときは 玄米の種類により、十分に白くならない場合は、精米度を下げ、繰り返し精米してください。
- もち米 ぬかの層が厚いので精米度を少し下げ、2~3回繰り返して精米してください。

## 「白米フレッシュ」とは

精白米の表面には「ぬか」が付着しています。時間が経つと、この「ぬか」に含まれる脂肪が酸化して脂肪酸になり、米の品質を悪くします。品質の悪くなった米の表面層を取り除き、鮮度を回復させ、においやバサつきをおさえて、つきたてに近いお米に精米する機能です。

## ●精米時間の目安

|                   |      | 3分づき | 5分づき | 白米  | 白米フレッシュ |
|-------------------|------|------|------|-----|---------|
| 米の量(精米後)<br>5合の場合 | 50Hz | 約6分  | 約6分  | 約7分 | 約4分     |
|                   | 60Hz | 約5分  | 約5分  | 約6分 | 約3分     |

精米時間は目安です。お米の銘柄、含水率、電源周波数、他の条件により多少変わることがあります。

## 2 玄米又は、白米(白米フレッシュ使用の場合)をホッパーに入れ、ふたをする。

- 玄米は精米するとぬか分だけ目減りします。1割程度多めに入れてください。
- ※古い玄米や白米及び、湿気の多い場所で保存していた玄米や白米は、くだけ米やホッパー内での精米残りなどの原因になりますので必ず乾燥(日陰で30分程度)させてからホッパーに入れてください。

## 3 コンセントに差込みプラグを入れ、電源スイッチ「入」(押す)にして精米する。

- もし、電源スイッチが「入」(押す)の状態の時に白米や玄米を入れても精米は始まりません。一旦電源スイッチを「切」(押す)の状態にして1秒以上待ってから再度電源スイッチを「入」(押す)にしてください。

※ホッパー内に玄米や白米が無いときは、光センサーが感知しませんのでモーターは回りません。必ず玄米又は、白米を入れてから電源スイッチを「入」(押す)にしてください。

- 途中で止めたいときは、再度電源スイッチを押します。

## 4 精米終了

- ホッパーから玄米や白米が無くなってから約10秒後に自動停止します。(玄米や白米の保存状況により多少精米残りがでることがあります。)

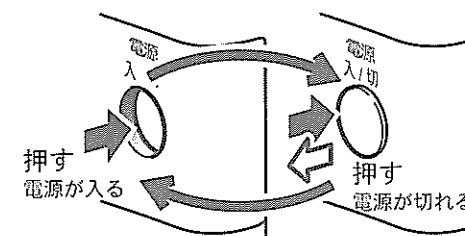
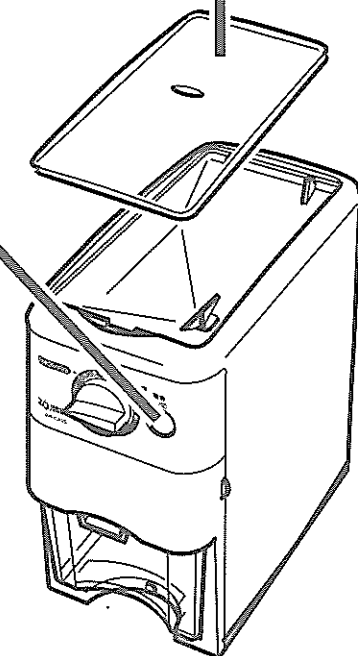
※自動停止後は、米をつぎたしても精米継続できません。その場合は再度電源スイッチを押し直し(「切」→「入」)してください。

- 電源スイッチを押して電源を切ってください。

※20分以上連続使用したときも安全のため自動停止することがあります。(10ページ参照)

※20分以上の連続使用後は、電源スイッチを切り10分程度休ませてください。(10ページ参照)

※ホッパーに米が無い状態でも、電源スイッチを入り切りさせたり、点検パネルを着脱させたとき、短時間モーターが回転することがありますが、異常ではありません。



## 5 使用後は差込みプラグを抜く。

- 精米したお米は、精米前よりやや量が減ります。

炊飯時には、必ず計量カップで計り直してください。

# お手入れ

差込みプラグを抜き、本体が冷えてから始めてください。

- 虫が発生しやすいため、お手入れは3日以上お使いにならないときに行ってください。
- 精米部に残っている米やぬかが落ちますので製品の下に紙などを敷いてから分解し、お手入れを行ってください。

| なまえ  | 方法  |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・本体外側</li> <li>・操作パネル</li> <li>・点検パネル</li> <li>・ホッパー</li> </ul> | <p>①ぬるま湯で薄めた台所用洗剤を柔らかい布に含ませ、固くしぼり汚れをふきとる。</p> <p>②洗剤を使った後は、水を含ませた後で固くしぼった布でふきとる。</p> <p>③最後に乾いた布で水気をふきとる。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふた</li> <li>・ぬか受け</li> </ul>                                   | <p>本体から外し、ぬるま湯で薄めた台所用洗剤に浸し、スポンジで洗う。洗剤を使った後は、水でゆすぎ、水気をふきとり乾燥させる。</p>   |

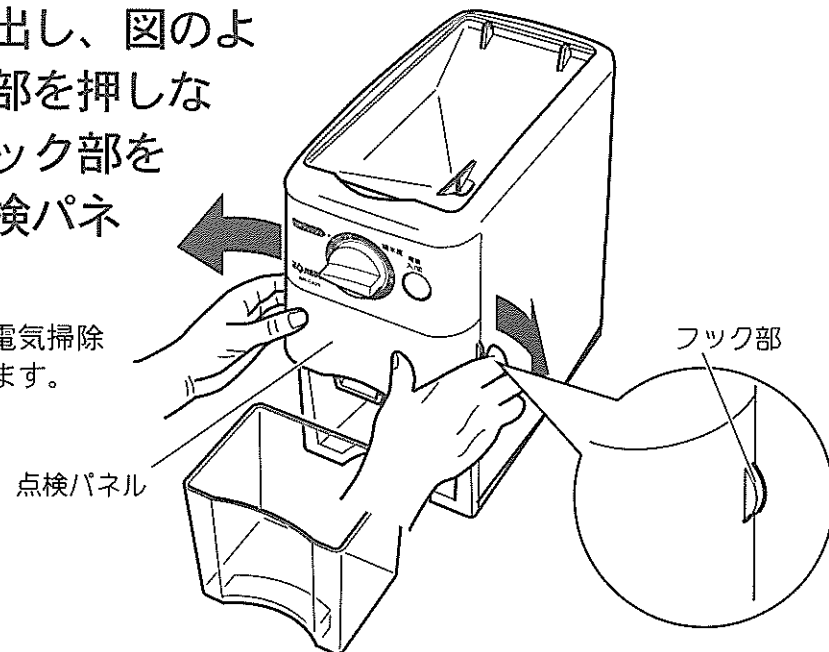
※シンナー・ベンジン・みがき粉・たわし類（ナイロン・金属製など）・台所用以外の洗剤・漂白剤などはお手入れに使用できません。また化学ぞうきんを使用する場合は、強くふいたり、長時間触れさせたりしないようにしてください。

## 精米部（内部）の分解とお手入れ

- 付属のブラシは、よく乾燥させてからご使用ください。

1 ぬか受けを引き出し、図のように親指で中央部を押しながら、左右のフック部を手前にひいて点検パネルをはずす。

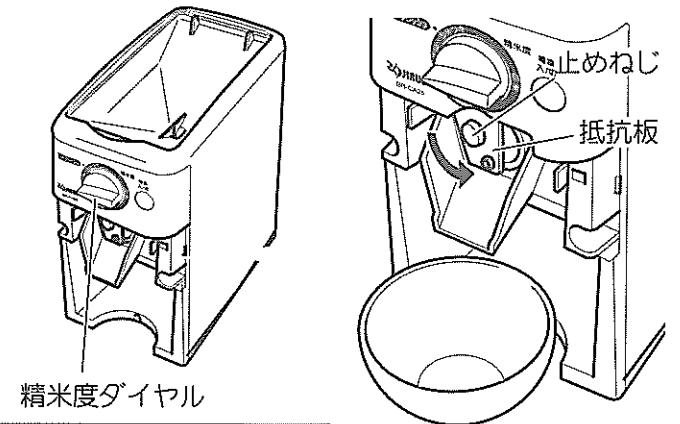
- 精米部のお手入れは、電気掃除機の使用をおすすめします。



2 止めねじをゆるめて抵抗板をはずす。

※この時、精米度ダイヤルを左側(3分づき)いっぱい回しておいてください。(お手入れ後の組み立て時に米出口のセットを容易にするためです)

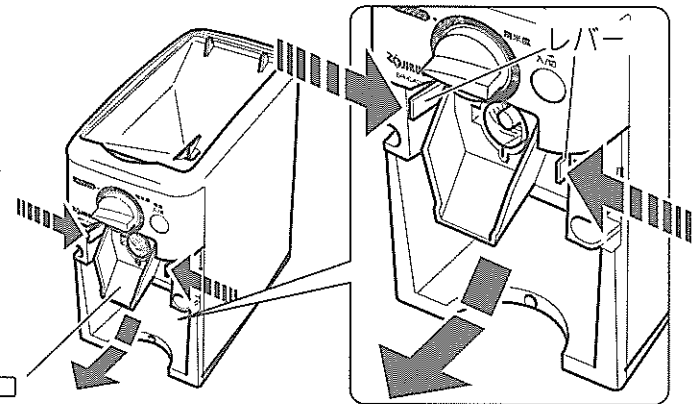
※抵抗板をはずすと米が落ちますのでボール等で受けてください。



精米度ダイヤル

3 米出口両端のレバーを矢印方向に押しながらか手前に引き、米出口をはずす。

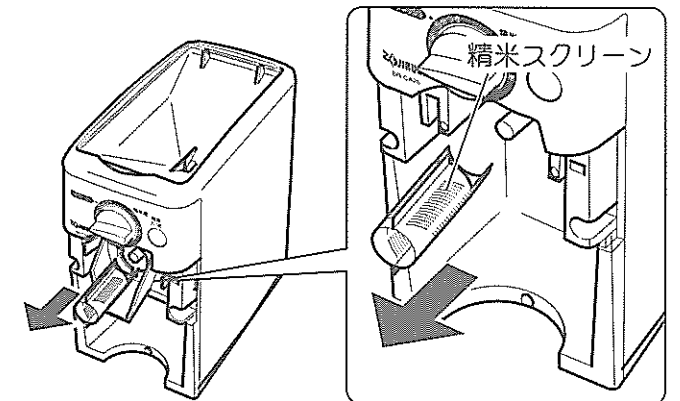
※米出口に付着したぬかも付属のブラシで取り除いてください。



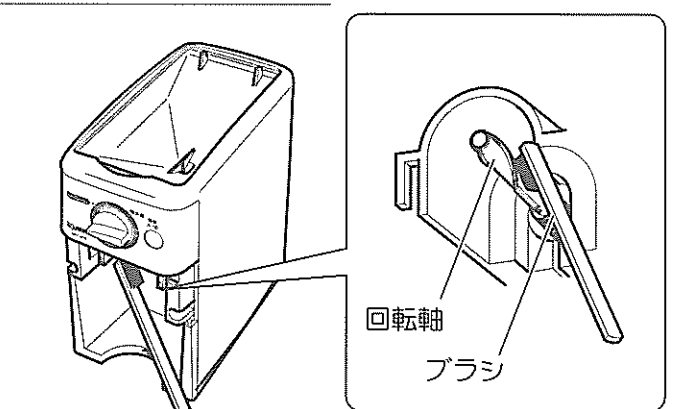
米出口

4 精米スクリーンを抜きとる。(鋭利になっていますのでご注意ください)

※抜きとる時に米やぬかが落ちます。



5 精米スクリーンと回転軸の周囲や奥にある米・ぬかを付属のブラシで取り除く。



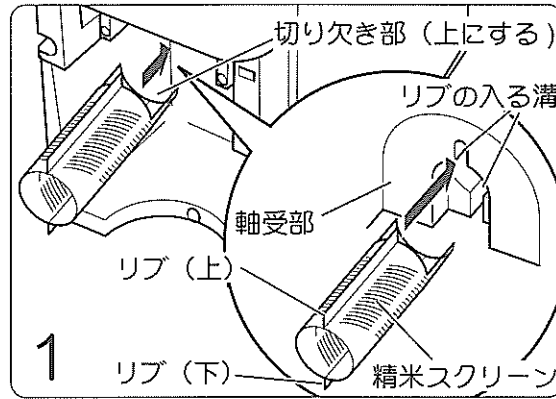
# お手入れ

## 精米部のお手入れ 組立て

組立は、分解と逆の手順で確実に行ってください。

### 1 精米スクリーンのセット。

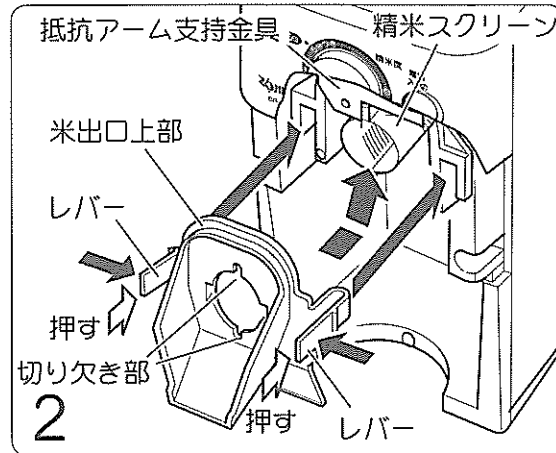
- ① 図のように精米スクリーンの切り欠き部を奥にします。  
※この時、切り欠き部を上にしてください。
- ② 軸受部奥の穴（∩）と精米スクリーンのリブをきっちりとはめ込み、確実にセットします。



### 2 米出口のセット。

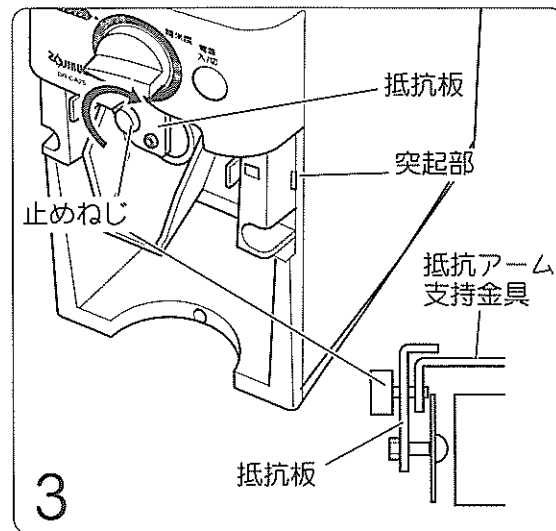
- ① 抵抗アーム支持金具を手前に引き、米出口上部を精米スクリーンと抵抗アーム支持金具の間にななめ方向から入れます。
- ② 米出口の穴の切り欠き部と精米スクリーンのリブ（上・下）にきっちりとはめ込みます。
- ③ 次にレバーを内側に押しながら奥にきっちりとはめ込みます。（きっちりとはめ込まれたときは、レバーが本体側面と平行になります。）

※この時、両端のレバー先端をかるく押してください。（セットが容易です）



### 3 止めねじを確実に締める。

- ① 図のように抵抗板をセットします。
- ② 抵抗板の止めねじと抵抗アーム支持金具の穴を合わせ、止めねじを右方向にしめます。
- ③ 点検パネルのフック部を持ち、本体側左右の突起部にセットします。



## 修理を依頼される前に 依頼前にご確認ください。

| 症状                           | 原因                                 | 処置                                       |
|------------------------------|------------------------------------|--|
| モーターがまわらない。                  | 差込みプラグがはずれている。                     | 差込みプラグを差し込む。                             |
|                              | 点検パネルが正しくセットされていない。                | 点検パネルを正しくセットする。                          |
| モーターが途中で止まる。                 | 20分以上の連続使用をした。（モーター過熱で安全装置がはたらいた。） | 電源スイッチを切り、10分程休ませる。精米を再開するときは、精米度を少し下げる。 |
|                              | 精米スクリーンの中に異物が入っている。                | 差込みプラグを抜き、お手入れをする。（P7～）                  |
| モーターがまわっても精米できない、又は精米にムラがある。 | 玄米に水分が多く含まれている。                    | 玄米を日陰で約30分間乾燥させる。                        |
|                              | ホッパーに玄米がつまっている。精米スクリーンが汚れている。      | 差込みプラグを抜き、お手入れをする。（P7～）                  |
|                              | 精米部に米が詰まった。（精米のしすぎ）                | お手入れ後、精米度を少し下げる。                         |
| 白米にぬかが入る                     | ぬか受けにぬかがたまっている。                    | 差込みプラグを抜き、お手入れをする。（P7～）                  |
| くだけ米が多い。                     | 精米のしすぎ。                            | 精米度を下げる。                                 |
|                              | 玄米に水分が多く含まれている。                    | 玄米を日陰で約30分乾燥させる。                         |

●精米中多少振動しますが、異常ではありません。

### ●ご注意とお願い

- 初めて使うときや、精米部のお手入れ後は、出始めに少量の玄米又は、白米が混じります。米受けボール等に受け、ホッパーに戻してください。
- 精米中に精米度を変えると約25秒後に、その精米度の米が出てきます。
- 精米度ダイヤルをまわすと精米部に残っている米が落ちることがあります。
- 白米がホッパー内で引っかかりスムーズに落ちないときは、付属のブラシの柄等で落としてください。
- 白米フレッシュのとき「精米度ダイヤル」を「白米フレッシュ」コース以外に合わせて使用すると、米が割れることがありますので、避けてください。
- 玄米の精米を行った後、引き続き「白米フレッシュ」コースを使用した場合、内部に残った玄米が、初めて出てきます。白米が出口から出てくるのを待って、一度運転を停止して玄米を取り除いてください。

### 保存するときは（長期間使用しないとき）

- 製品が汚れていないか、またよく乾燥しているかを確認してください。
- 製品は、お手入れ後ポリ袋をかぶせて箱に入れ、高温・多湿の場所をさけて保存してください。

### 愛情点検



●ご使用中、電源コード・差込みプラグが異常に熱くなる。  
●機体から煙が出たり、焦げくさい臭いがする。  
●機体の一部に割れ、ゆらみ、がたつきがある。  
●その他の異常や故障がある。

### お願い

こんな症状のときは、故障や事故の防止のため、必ず販売店に点検（有料）をご相談ください。

## 長年ご使用の家庭用精米機の点検を！